

北信支部 5.15雁田山一般公開イベントを 終えておもうこと

(株)信越建商 北條 美憲

平成17年5月15日(日)は、本県業界では珍しい、終掘前の採石場(原石山山頂部)での一般公開イベントが開催されました。このイベントを通して、私に気が付いたことをまとめてみたいと思います。

田中康夫知事就任以来、採石業界は自然環境に大きな負担をかける、環境破壊産業であり、信州の観光開発における癌細胞のような目で視られてきました。当時、私の周辺でも多くの方から「採石業者は多すぎるから半分位にすべきだ。」との声もありました。

そんな中、認可更新にかかる事前調査(平成16年7月)として、知事ご本人が雁田山を視察されました。当日私達は「知事が来るならば、雁田山の採石は止められてしまう」との危機感の中で山をご案内したところ、知事の認識も大きく変化し「遠くから見上



ワインで上機嫌の大きなお友達と子供達

げているだけじゃなく、登って見ないと解らない事もある。ココは本当に眺めが良いから、一般の方々にも登って貰うと良いね。その方が業者の努力も理解していただける。」とのご意見をいただきました。その後、今年3月下旬より土木部河川課の指導の下、企画を検討し、植樹イベントという形で実現されました。

当初イベントは、須坂市・小布施町・高山村にお住いの一般家庭を中心に、200~300名という規模で想定し、役所の広報誌と防災無線、地元の回覧板



植樹に集まった大勢の方々(感謝)

等で告知しましたが、予想を大きく上回る反響で、500名以上の地元の方々のご来場を頂きました。

イベントにいらしゃった一般のお客さんの反応は、「子供の頃から知っている採石山に一度登ってみたいかった。」「木のない採石山を緑にしたいと思っていた。自分の手で植樹ができて良かった。」と言ったもので、地元の皆さんは悪い印象もなく、採石山に関心を持っていただいたことにホッとしました。

このイベントで、私は三つの事に気づきました。一つ目は行政についてです。「行政が何かに向かって動き出したら誰にも止められない。」と言う事です。当初、私は「知事の思いつきの言葉で、そんなイベント実際にやる訳ない。」と思っていました。しかし、日を追うごとに行政担当者の顔が真剣に成り、ついに当日は、悪天候の中でも実施、成功させてしまったのです。

これは、現在の長野県において、知事の県政に対しての強いリーダーシップの賜であり、当事者としては大変でしたが、一人の県民として考えた場合、とても心強く有り難いことだと思います。

二つ目は、業界の体質についてです。「強力なり

ーダーがいないとイベントひとつ、まとめられない」という事です。5月のイベントは行政との共催といっても、その殆どが業者側に任されていたから、2社の連携が欠かせません。しかし、両社とも「行政の指導に任せて、余りでしゃばった事はしない方が良い」との考えが強く、誰もリーダーに成りたがらず、十分な打ち合わせをしなかったものです。結果、イベント一週間前に両社が慌てて、独自に「アレを準備しよう、コレも用意しよう」と動き出し、物資のダブリや不足が幾つも発生してしまいました。実行部隊として働いた各社の工場責任者の方々には、精神的にも肉体的にも大きな負担がかかったものと思います。

イベントに限らず、業界の諸問題の解決には、人任せにせず行動できる強いリーダーと、肩書きや年齢の差に関わらず、大きな声で呼び掛けることができるサブリーダーの登場が求められていると思います。



頼むぞ！未来の天才オペレーター！！

三つ目としては、自分の心についてです。「自分も地域の一人としての心を忘れない。」ということです。中学生頃の私は、自分の部屋から見える雁田山の異様を不思議に思うと同時に「自分の父は、自然破壊をしている」と考えていました。その後、高校生の頃には「終掘後の雁田山は、自分の手で緑に戻したい。父の仕事は地域に必要なもので、皆に理解して貰いたい。」と考える様に成りました。会社で働く事にしたのも、そんな考えがあったからです。しかし、日頃の忙しさから、地域の方々に採石業への理解を深めてもらう活動は、まったく進んでいませんでした。



信州牛バーベQは大好評でした



ストーンペイントを楽しむ子供達

そんな中、このイベントを通じて地域の方々に、ほんの一部分でもご理解頂けた事は、とてもうれしく思います。又、建設機械の前で写真を撮ったり、運転席で操作レバーを握って笑う子供達を見て、自分の小学生の頃を思い出しました。

これからはイベントに来場された方々と同じ事を就職前の自分も考えていた事を忘れず、採石業にご理解頂ける様に。又、災害で地域に被害を出さない様に、今以上に勉強、努力する事を忘れず動いて行きたいと思います。

最後に成りましたが、イベントにご協力を頂きました、東日本キャタピラー三菱建機販売(株)、(株)前田製作所、ブリヂストンタイヤ長野販売(株)の皆様、急なお願いを快くお引き受けくださりまして誠に有り難うございました。又、当日も雨の降る中で、お手伝い頂きました組合の役員、事務局をはじめ、業界の多くの方々、お昼ご飯も忘れて駆け回って下さったスタッフの皆様、大勢の方々のご協力で無事終わることが出来ました。この場をお借りしまして厚く感謝申し上げます。